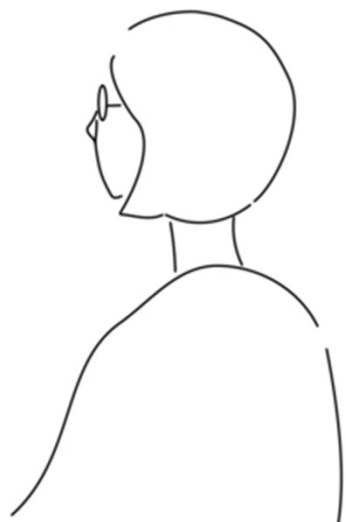


強度行動障がい児者支援に係る 支援者養成と体制整備



田熊立 (TAKUMA RITSU) 氏

- 千葉県発達障害者支援センターCAS 副所長
- 博士(学術)、臨床心理士、公認心理師
 - 筑波大学大学院博士課程を経て現職
 - 専門分野は応用行動分析学
 - 理論と経験を活かし、研修事業を開催

強度行動障がい児者支援に係る支援者養成と体制整備 - 千葉県と鳥取県での実践 -

日時: 令和7年2月1日(土) 午後1時30分から午後4時30分まで
会場: 鳥取県立福祉人材研修センター ホール (鳥取市伏野1729-5)
費用: 無料
申込: とっとり電子申請サービスから申し込みください (申込メ切:R7.1.10)

LIST OF TEACHERS



井上雅彦 氏
鳥取大学大学院
心理学講座
教授



本間隆之 氏
鳥取県立
米子養護学校
校長



田中那弥 氏
(株)サポートゾーン
サポートセンターわくわく
サービス管理責任者



上田洋平 氏
鳥取県厚生事業団
事務局企画指導課 主事



田村和也 氏
(社福)もみの木福祉会
支援センターのぞみ
支援員



中谷啓太
『エール』鳥取県発達
障がい者支援センター
地域支援マネージャー

強度行動障がい児者支援において、「サービス提供拒否」や「被虐待リスクの高さ」は四半世紀以上続く大きな課題です。その背景には「支援の仕方が分からない」という支援現場の悩みがありました。そのため、0年0カ月の新任職員が受講することを想定した『強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）（実践研修）』が、2015年から全都道府県でスタートしました。開始から約10年が経過し、「障害特性」や「構造化」、「チーム支援」など支援に必要な基本的な考え方は、少しずつですが着実に福祉分野に浸透してきています。ただ実際の強度行動障がい児者支援では、行動の機能を整理し、具体的な支援方法の立案、実践、見直しを、チームで続けていく実践力が求められています。

本研修では、千葉県発達障害者支援センターの田熊氏から、千葉県での人材養成研修と地域支援体制についてお話しいたします。同県では「一年を通した人材養成研修」（2014年-）や市町村・県・事業所とを繋ぐ「暮らしの場支援会議」といった独自の地域支援体制が整えられています。なお本県でも、独自の支援者養成研修（専門研修）と地域支援体制（とっとり版強度行動障がい児者先導的支援事業）が実施されています。両県の支援者養成の現状と課題について報告すると共に、強度行動障がいがあるご本人やご家族が安心して生活できるよう、必要な教育・医療・福祉に繋がる地域支援体制の整備について、対談形式で皆さんと一緒に考える機会としています。

当日のプログラム：予定

時間	発表者（●=対談司会）
13:00 受付	
13:30 開会／挨拶	松田 啓生（エール 所長）
【前半】強度行動障がい児者支援に係る支援者養成と体制整備	
13:40 ■ 鳥取県における支援者養成と体制整備の現状 20	上田 洋平 氏（鳥取県厚生事業団） 中谷 啓太（エール）
15:00 ■ 千葉県における支援者養成と体制整備の現状 50	田熊 立 氏（千葉県発達障害者支援センターCAS）※以下、CAS
■ 総評	井上 雅彦 氏（鳥取大学大学院）
休憩（15分）	
【後半】対談	
15:15 自治体単位で取り組む『強度行動障がい児者支援』の現状と展望 45	井上 雅彦 氏（鳥取大学大学院） 田熊 立 氏（CAS）
16:20 質疑応答 20	本間 隆之 氏（鳥取県立米子養護学校） 田中 那弥 氏（サポートセンターわくわく） 田村 和也 氏（支援センターのぞみ） 信原 和典（エール）●
16:30 閉会／挨拶	小林 一義（鳥取県障がい福祉課）

お申し込みの詳細：R7.1.10メ切

下記の項目で検索、または右のQRコードから「とっとり電子申請サービス」にてお申し込みください。

(QRコード)

エール 鳥取 普及啓発



- 申込受付通知メールが届かない場合、お手数ですが、下記『エール』までお問い合わせください。
- 手話通訳者等、何らかの配慮をご希望される方はお申し込み時にご入力ください。
- ご入力いただいた個人情報には本研修会のみで使用し、他の目的には使用しません。
- 本研修の録画・録音・撮影・複製および資料の2次利用、SNS等への投稿は固くお断りします。

【お問合せ】 『エール』鳥取県発達障がい者支援センター（平日 8:30-17:15）
TEL 0858-22-7208 MAIL yell@pref.tottori.lg.jp